



お お せ ど つ う し ん

大世渡通信

第68号
【2025年3月】

〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006

■■この大世渡通信は私たちとご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一通信です■■

◆専務の1周忌◆

こんにちは。中国地方の屋内外サインを自社一貫制作体制で承っております、広島市南区、(株)日本彫刻工芸、代表の大世渡(おおせど)です。大世渡通信第68号をお送りいたします。

さて、専務が他界して3月でちょうど1周忌です。お取引様にはお葉書にてお伝えはしていましたが、あれからあつという間の1年でした。

専務は私の従兄弟です。専務は大学を出てから1社を経て、25、6歳で日本彫刻工芸に入社。そのままずっと働いてくれました。私が大学を出て飲食を経験し、こちらに戻ってきたときには既におり、私は専務に1年近く毎日のようについて回り、打ち合せや現場などいろいろ教えてもらいました。本当に感謝しているのですが、それにしても、早すぎる別れでした。

専務は62歳で他界してしまいました。65歳を境に3人の主な管理者に引き継ぎを進めようと話していた矢先のことでした。

一昨年の9月、専務が「ちょっとお腹の上の方が痛いんじゃ」と言うので、私は「病院に行ってください、はよ」と伝え、専務は1件、2件と病院に行くも、そこでは普通の腹痛くらいにしか言われず、念のためにと、たしか3件目だったと思いますが、そこでがんが見つかりました。

そこから半年で亡くなってしまったのですが、10月に社員旅行があり、「せっかくじゃけ行こうや」と言って、最後に皆で旅行に行くことができたのは本当に良かったです。

専務のことでパツと思い出すことができるのは、とにかく、真面目で責任感のある仕事人間だったことです。日曜など休みの日に私が事務処理をするため会社に行くと、専務が朝から来ていて、私が「日曜日なんじゃけ、たまには休みんさいや」と言うのですが、「ちょっと気になることがあって出てきたんじゃ」と、本当によく働いてくれる人でした。



あれから1年、まだ落ち着きませんが、専務がいなくて仕事をするにやっとなどと頭と身体が慣れてきました。前期は会社の売上も落ちましたが、あれから1年、今期の出だしは好調で、専務に顔向けできるところまで盛り返せそうです。

◆編集後記◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます。さて、1年前、専務の葬儀を終えてから専務の奥様とお話をする機会がありました。休日も朝から会社に向かう専務に奥様が「休みなんじゃけ、今日はゆっくりしんさいや」と言うと、専務が「いや、お客さんと会社の繋がりがあって、責任があるんじゃけん、ちょっと行ってくるわ」と会社に向かっていたそうです。本当に真面目で責任感のある方でした。

■大世渡通信はいらないよという方は、大変お手数ですが082-250-8883までご連絡いただければと思います■

【発行者プロフィール】

■名前:大世渡 英和(おおせど ひでかず) ■生年月日:1979年1月18日
■血液型:O型 ■出身地:広島県呉市 ■趣味:料理(食べ飲み歩きも好きです)、音楽(レコードを聴きます)、キャンプ、スノーボード ■家族構成:好奇心旺盛な私、高校時代から交際していた妻、誰に似たか秀才の息子(15歳)、天真爛漫な娘(13歳)
【発行元】(株)日本彫刻工芸 本社工場 〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6
Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006 Email:h-ohsedo@niccho.main.jp

農家直営アンテナショップ
grab luck(グラブラック)
のインスタはこちら！



@GRAB_LUCK